

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09000100

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	A		
単位施策	5	農業による地域の活性化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	農畜産物を活用した食品の開発調査推進事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	加工食品の開発					
事業目標	地元農畜産物の加工					
住民参加	有	開発調査の協力、情報の提供	見直し年度			
住民協働	有	開発調査の協力、情報の提供	担当課	9 産業振興課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容		酪農経営の安定化、地産地消の推進、地場製品のブランド化を図るうえで、2次加工製品の開発が重要であることから、製品開発に向けた取組を実施する。	関係機関等との検討 加工食品の研究開発	関係機関等との検討 取り組み内容の検証	関係機関等との検討	関係機関等との検討 加工食品の研究開発
計 画 事 業 費	事業費(千円)	600	600	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	600	600	0	0		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	0	0	0	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		【評価・実績】	加工食品開発のための調査・研究	加工食品開発のための調査・研究	加工食品開発のための調査・研究	加工食品開発のための調査・研究
			※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	加工食品の研究開発	加工食品の研究開発	加工食品の研究開発	加工食品の研究開発
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	
	備考欄					

事業名	農畜産物を活用した食品の開発調査推進事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	農務係長	小野 隆行

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農業生産物	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	加工食品の開発
【抱える課題やニーズは】	新たな製品を開発するための情報や専門的知識の不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新たな加工食品の開発	①	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	新たな加工食品の開発による農業の振興	調査・研究等	目標値 1式
			実績値 1式
			達成度 100.0%
		②	目標年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	加工食品の試作	雄武地域地場産品推進協議会が民間企業に委託して韃靼そばを活用した加工品(乾麺)の試作やマーケットリサーチを支援した。 (※雄武町耕作放棄地対策協議会における加工食品の試作は、平成28年度で終了)	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町が構成員となっている雄武地域地場産品推進協議会において、雄武町産の韃靼そばを活用した加工食品の開発を行っており、地産地消や6次産業化を推進するために必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	雄武地域地場産品推進協議会において、雄武町産の韃靼そばを活用した新たな加工食品の開発に向け、「グルテンフリー麺」(乾麺)を試作し、マーケットリサーチを支援した。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	雄武地域地場産品推進協議会では、国の補助事業を活用しており、継続的な加工食品の開発が計画されている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	韃靼そばを活用した加工食品の開発は、6次産業化を推進するだけでなく、地産地消や地場産品のブランド化等、雄武町の農業振興に貢献するものであり、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
平成28年度に設立された雄武地域地場産品推進協議会において、雄武町産の韃靼そばを活用した加工品(乾麺)を試作し、マーケットリサーチを行っており、イベントへ職員を派遣するなど支援することができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
雄武地域地場産品推進協議会において、加工食品の開発を継続する。また、町内において、6次産業化に取り組む農業者の支援も行っていく必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止